

新ウェブサイト、お披露目

情報開示、資源獲得支援

すでにみなさん、お気付きかもしれませんが、コモンズのウェブサイトが5月から新しく生まれ変わりました。< www.npocommons.org > ユニバーサル・デザインを心がけて、障がいを持つ方や、携帯からアクセスする方も考慮に入れて、誰でも使いやすいように設計しました。今後、より視覚的にアピールするよう、みなさんの活動の現場の写真や、助成金情報、団体運営のコツ、またYouTubeのビデオなども載せて、インタラクティブな、何度でも訪れたいようなウェブサイトとなるよう、目指しています。こういう情報があつたらいいの！というアイデアを随時お待ちしております。

また、茨城県内のNPOの情報をより簡単に入手できるよう、日本NPOセンターが管理するNPOヒロバのデータベースと連動した団体検索システムを、トップページに載せました。さらに、そのデータベースに載った団体情報をみなさん自身で修正できるようにリンクも載せました。団体設立時に日本NPOセンターから送られたパスワードなどを使って、どんどん情報公開していきましょう！

あのソフトが破格の値段で？！

そうなんです、夢みたいな話ですが、会報づくりに使えるマイクロソフトPublisherが681円で、Office Professional が2,000円以下で、画像処理のあの人気ソフト Photoshop が1,459円で、シマンテックのウィルス対策ソフトもたった3,405円からお求めいただけます！

実はこれ、世界共通で非営利団体のIT支援を行っているTechSoupというプログラムの話。世界中のNPOが最大限の力を発揮できるよう、IT製品の提供だけではなく、ITのサポートも行っています。マイクロソフト、PDFでおなじみアドビー、それにセキュリティー専門のシマンテックが共同して、非営利団体向けに人気のコンピューター・ソフトを市場価格のたった4%ほどで販売しています。寄贈対象となる条件は www.techsoupjapan.org で確認できます。

なお、日本でこのプログラムをまとめているのが日本NPOセンターですので、日本NPOセンターのデータベースに団体情報が登録されていることが、条件のひとつとなります。コモンズのホームページのリンクから、情報登録をお願いします。

ITの力を、NPOの力に！

 **techsoup**
JAPAN
www.techsoupjapan.org

業務効率化アツクのための ITアンケートにご協力ください

ITを効果的に活用することで、さまざまな事務作業を効率化できます。小さな非営利団体こそ、ITの力が最大限に生きてきます。コモンズは今後ITに関する団体支援を強化していきたいと考えています。

現在、コモンズでは『ITを活用した業務の効率化に関するアンケート』をまとめています。みなさんのITに関するニーズをより正確に把握して、今後の支援プログラム作りに役立てたいと思っています。

同封してある別紙アンケートにご記入、またはコモンズのウェブサイトのトップページから用紙をダウンロードして、7月21日（火）までにぜひご回答ください。コモンズがみなさんのITニーズに十分お応えするための参考にします。

ファックス：029-300-4320
eメール：info@npocommons.org



シニア情報生活アドバイザー養成講座 開催の予告

会員発の事業を支援！

コモンズは、会員の森田さんを中心として、シニア情報生活アドバイザー養成講座を、今秋、水戸で計画しています。森田さんは「シニアネット水戸」（仮称）の準備会設立をも目指しています。「シニアネット水戸」とは、活力ある高齢化社会づくりのため、パソコンの普及、活用を通じて、シニア層のIT情報の共有、社会参加・貢献の推進に寄与し、活動の場、また仲間作りの場のひとつになるネットワークを水戸近郊で作ろうというものです。以下の活動や講座に興味のある方は、コモンズ事務局までご連絡下さい。

- ・シニア向けパソコン講習会／初心者向けパソコン講習会
- ・外部コミュニティ、NPOへのIT支援
- ・パソコン・IT技術勉強会（会員対象）
- ・仲間作りの趣味の会（会員対象）

シニア情報生活アドバイザー養成講座

みなさんにあまりなじみのない言葉かもしれませんが、シニアや団塊の世代の方々が、パソコンなどの情報技術の活用方法を同世代の初心者へ教える方法を学ぶ講座です。

予定日時：2009年9月26日～10月31日、毎週土曜日、5回、計25時間

予定場所：茨城県水戸生涯学習センター

受講費用：32,500円（認定試験あり、合格者に認定書発行）

詳しくは、ニューメディア開発協会のホームページをご覧ください。

<http://www.nmda.or.jp/mellow/adviser/>



森田 出さん

企業、労組との連携

SRネット茨城が、ついに発足！

5月27日、昨年準備してきたSRネット茨城が、ついに発足しました。正式名称は、「地域のパートナーシップを開くSRネット茨城」。経済団体、企業、労働組合、生協、NPO、マス・メディアなど、様々な関係者が、地域の課題解決のために協働するため、プラットフォームづくりを目指しています。

SRとはSocial Responsibility（社会的責任）の頭文字を取ったものです。CSR（企業の社会的責任）とよく言いますが、企業だけのものではない、ということで近年はSRという言葉が用いられるようになってきました。地球温暖化、貧困、社会的格差など、行政だけ、企業だけでは解決できない色んな社会の問題を、それぞれのセクターが協力して克服しよう、という取り組みが、グローバルに、また国家レベルでも動いています。その茨城版が、このSRネット茨城なのです。第2回目の例会は、7月29日（木）15時から「耕作放棄地を減らし、農業従事者を増やすために、どんな協力ができるか」をテーマに行います。

コモンズの例会でも、SRについて議論

6月16日、つくば市民大学でコモンズの例会を開催しました。日本NPOセンターの田尻 佳史事務局長をゲストに招き、現在検討が行われているISOの新基準、ISO26000や、SRのための市民団体の全国組織「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」（通称：NNネット）について伺いました。それに関連して、現在国レベルで行われている「安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議」（通称：円卓会議）についての説明があり、政府、事業者、労働組合、金融、消費者の各セクターに対してNPOセクターはどんな提案を出すべきか、議論が行われました。難しいテーマでしたが、出席された方々は熱心に講演に耳を傾け、議論に参加されていました。社会を構成する真のパートナーの一つとして、市民団体の底力、発言力が、いま試されています。